

(記入例)

別記様式第1号（第5条第1号関係）

令和8年度酪農生産性向上対策事業（乳用後継牛自家育成確保対策事業）実施計画承認申請書

令和8年4月7日

香川県知事 殿

4月7日以降の日付

所在地 〒760-8570
高松市番町四丁目1番10号
事業実施者 香川 太郎

下記のとおり、令和8年度酪農生産性向上対策事業（乳用後継牛自家育成確保対策事業）を実施したいので、同事業要領第5条第1号の規定に基づき申請します。

記

1 事業の内容

(1) 事業目的

自家育成により牛群の改良をし、乳質改善を図る。

(2) 令和8年2月1日の成牛頭数

〇〇 頭

2 自家育成頭数

	自家育成頭数	
事業実施前	〇〇	頭
事業実施後	××	頭

3 補助申請額

対象頭数	人工授精回数	補助申請額
25 頭	75 回	600,000 円

※変更があった場合のみ
使用する

(記入例)

別記様式第3号(第5条第1号関係)

令和8年度酪農生産性向上対策事業(乳用後継牛自家育成確保対策事業)実施計画変更承認申請書

令和〇年〇月〇日

香川県知事 殿

変更があった日を記入し
速やかに提出ください

所在地 〒760-8570
高松市番町四丁目1番10号
事業実施者 香川 太郎

下記のとおり、令和8年度酪農生産性向上対策事業(乳用後継牛自家育成確保対策事業)について、事業内容を変更(中止)したいので、同事業要領第5条第2項第1号の規定に基づき申請します。

記

1 変更(中止)の理由

事業費について、交付決定額から3割以上の減少があったため。

2 自家育成頭数

	自家育成頭数
事業実施前	(〇〇) 頭
事業実施後	(△△) 頭

3 補助申請額

対象頭数	人工授精回数	補助申請額
(25) 頭	(50) 回	(400,000) 円

※ () 内に当初の数値、下段に変更後の数値を記載すること。

例えば、「人工授精回数を75回で想定していたが、想定よりも順調に受精され、人工授精回数が50回になった。」という場合で考えると、申請額が600,000円から400,000円となり、3割以上の減少が生じるため変更承認申請書を提出しなければなりません。